

# 令和6年度 渋川あゆみこども園 自己評価結果報告書

## 1. 総評

本園では、保育理念「共生と共創」のもと、子ども一人ひとりの主体性を尊重した保育を継続的に実践している。自己評価の結果からは、職員間の信頼関係や協働体制が確立され、安定した保育環境が整えられていることが確認できた。

一方で、人材確保や設備面の安全対策、地域とのつながりのさらなる充実など、今後に向けた課題も明確となった。これらを踏まえ、次年度に向けて具体的な改善を進めていく必要がある。

## 2. 評価できる点

### ① 理念の共有と組織体制

- ・保育理念や方針が職員間で共有され、日々の保育実践に反映されている。
- ・職員同士が意見を出し合いやすく、相談しやすい職場風土が形成されている。

### ② 子どもの主体性を大切にした保育

- ・子どもが自ら考え、選び、関わることを大切にした保育が実践されている。
- ・年齢や個性、家庭環境の違いを受け止め、それぞれの育ちに寄り添った援助が行われている。

### ③ 安心・安全および健康管理

- ・アレルギー対応や感染症対策について、マニュアルに基づいた対応が徹底されている。
- ・緊急時の対応方法が職員間で共有され、安全意識を持った保育が行われている。

### 3. 課題と改善点

#### ① 人材確保および育成

- ・ 職員の確保や定着については引き続き課題があり、働きやすい環境づくりと人材育成の工夫が求められる。
- ・ 研修で得た学びを保育実践に十分に活かしきれていない部分がある。

#### ② 安全対策（設備面）

- ・ 避難訓練は定期的に行われているが、設備面についてさらなる点検が必要である。

#### ③ 地域との連携

- ・ 保護者対応は丁寧に行われている一方、地域との連携については今後の工夫が求められる。

### 4. 今後の取り組み

- ・ 設備点検を定期的に行い、安全対策の強化を図る。
- ・ 園内研修や話し合いの機会を充実させ、職員の専門性向上を進める。
- ・ 地域や関係機関との連携を深め、開かれた園づくりを推進していく。